

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2017-06-29

APM news 170

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)

ふなばしアンデルセン公園こども美術館「第8回きりがみ展」

JBD2016「マッチ売りの少女」受賞・入選作品特別展示

展示期間：4月16日～7月23日



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233



秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) 館長・秋山孝が開園から携わっている、ふなばしアンデルセン公園 (千葉県船橋市)。2015年に世界最大級の旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」で発表された「日本の人気テーマパーク」で3位に選ばれて話題にもなった施設だ。その名の通り、ハンス・クリスチャン・アンデルセンの出身地であるデンマーク・オーデンセ市との交流も行っている。その1つが「きりがみコンクール」だ。公園内にある「こども美術館」で毎年開催しているコンクールで、アンデルセン童話を題材にした切り紙作品のコンクールである。アンデルセンが切り紙の名手だったことから由来する企画である。表彰式にはデンマークから来賓を招待し、大賞受賞者には副賞としてデンマークへの旅が授与される。秋山館長はこのコンクールの審査員を務めている。

その縁もあり、今年の「きりがみコンクール」の作品展会場内で、APM主催「日本ブックデザイン賞 (JBD) 2016」の課題図書・アンデルセン作「マッチ売りの少女」を題材とした受賞・入選作品32点を展示した。アンデルセンを愛するデンマークの人々や子供たちの目にこの作品たちはどのように映ただろうか。JBD2017の課題図書にもアンデルセン作「赤い靴」が入っている。アンデルセン文学を通してデンマーク(オーデンセ)、船橋(アンデルセン公園)、長岡(JBD)が繋がりが、魅力的な広がり期待できそうだ。(たかだみつみ・APM事務局長、学芸員)